

地域協議会だより

Vol. 37 (2019年2月26日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
長野市大字南長野字宮東 452-1
長野県土地改良会館別館 3階
会長 赤羽 昭彦



Y 残寒の候

寒気も少しずつ緩みはじめましたが、本格的な春が待たれるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回は、1月23日～24日に開催した「多面的機能支払事業広域活動組織研究会」意見交換会及び、2月13日に開催した平成30年度通常総会の様子と、佐久市の「竹田水と環境を守る会」の活動を紹介します。



Y 「多面的機能支払事業広域化活動組織研究会」 意見交換会

1月23日(水)、24日(木)、安曇野市(ビレッジ安曇野)で、「多面的機能支払事業広域化活動組織研究会」を、県内広域活動組織及び、関係市町村担当者、広域化を検討している市町村担当者、傍聴を希望する市町村担当者、(述べ90名)のご参加を頂き開催しました。

【1月23日(水)】



1 広域活動組織の事例発表

上田市多面的機能広域協定ほか12組織の事例発表を行い、高齢化、担い手不足、役員の人材確保などの課題や、水路等の施設への更新を計画的に実施することが可能になった。事務処理については一貫して事務局が担うことで、より効率的な事務処理体制が確立した。など広域化したことによるメリット等が発表されました。



事例発表の様子



意見交換会の様子

【1月24日(木)】

2 先進地事例紹介(新潟県及び山形県の広域組織)

- (1)糸魚川市多面的機能支払運営委員会
 - ・行政主導で全市1組織 (新潟県糸魚川市)
- (2)みさと田園空間クレーターズ
 - ・組織体制(NPO 法人) (山形県天童市)
- (3)米沢市広幅地域農地・水・環境保全組織
 - ・長寿命化(直営施工) (山形県米沢市)

3 意見交換(テーマ:広域活動組織の現状と課題)

以上、二日間にわたり、県内の広域活動組織の取組みの経過や活動の課題を明らかにし、今後の組織の広域化の方向性を整理するとともに、意見交換会での内容を集約して関係者に情報提供することにより、組織の広域化や事務軽減の参考にして頂きたいと考えます。

Y 「平成30年度通常総会

協議会規約第13条に基づく平成30年度長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会通常総会が、2月13日(水)長野市の長野県土地改良会館で開催されました。(会員数78名 本人出席18名、代理人出席14名、委任状40名)

●総会の内容

1. 総会報告事項

- ・多面的機能支払事業の実施状況について
- ・平成29年度事業実施状況及び予算の執行状況について

2. 議決事項

- (1)平成29年度事業報告及び収支決算について
- (2)平成30年度収支予算の補正(案)について
- (3)平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- (4)協議会規約の一部改正(案)について
- (5)役員を選任について



赤羽会長の挨拶

平成30年度通常総会 (長野市:土地改良会館)

Y 長野県の多面的機能支払事業の平成 30 年度実施状況

総会では、事務局より、事業の実施状況の報告がありました。

(1)平成 30 年度取組実績(見込み)

区分	市町村数	活動組織数	取組面積 (ha) (交付金対象面積)			交付金額 (千円)				
			田	畑	草地	国費	県費	市町村費		
農地維持	72	812	36,928	24,240	12,626	516	1,019,524	509,762	254,881	254,881
資源向上 (共同)	57	495	25,262	18,177	66,609	476	393,610	196,805	98,402	98,402
資源向上 (長寿命化)	53	459	29,997	19,831	10,113	53	918,602	459,301	229,651	229,651
計	(72)	[806]	[39,542]	[25,692]	[13,334]	[516]	2,331,736	1,165,868	582,934	582,934

●カバー率(県の農振農用地面積に対する取組面積の割合)H29:36.2%→H30:39.1%

区分	H 29 実 績				H 30 実 績 見 込 み					
	市町村数	地区数	取組面積 (ha) (交付金対象面積)		カバー率	市町村数	地区数	取組面積 (ha) (交付金対象面積)		カバー率
農地維持	72	812	田	24,240	50.0%	72	794	田	25,377	47.8%
			畑	12,626	27.5%			畑	13,303	31.2%
			草地	62	0.7%			草地	516	9.9%
			小計	36,928	35.9%			小計	39,196	38.8%
資源向上 (共同)	57	495	23,644	23.0%	57	495	25,262	25.0%		
資源向上 (長寿命化)	53	459	28,650	27.9%	53	459	29,997	29.7%		
全体 カバー率		[824]	37,274	36.2%		[806]	39,542	39.1%		

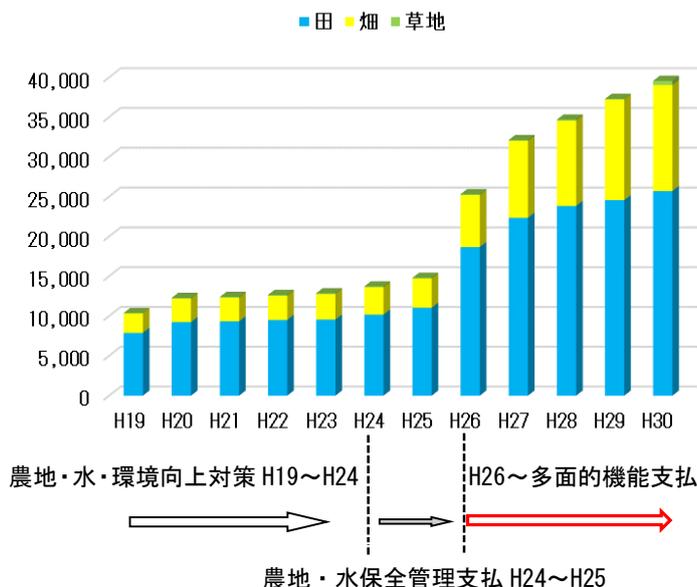
※[]:重複を除いた実際の地区数及び面積。

※カバー率は国公表値 (国が公表する長野県の農振農用地面積) 102,825ha(田 48,495ha、畑 45,956ha、草地 8,373ha)に対する率。

※全体カバー率は、「農地維持の取組面積」と「資源向上のみ取組む面積」を含めた率。

●取組面積の推移H19:10,365ha→H30:39,542ha(見込み)

《取組面積の推移》



地目別取組面積

年度	取 組 面 積 (ha)			
	田	畑	草地	
H19	10,365	7,884	2,450	31
H20	12,280	9,242	2,941	97
H21	12,402	9,333	2,972	97
H22	12,646	9,511	3,038	97
H23	12,855	9,560	3,198	97
H24	13,719	10,183	3,438	98
H25	14,803	11,046	3,659	98
H26	25,300	18,666	6,532	102
H27	32,103	22,333	9,664	106
H28	34,675	23,830	10,708	137
H29	37,274	24,555	12,657	62
H30	39,542	25,692	13,334	516

※H30 は、見込み値。

多面的協議会の平成 30 年度の主な事業実績

総会では、田中事務局長より平成 30 年度の主な事業実績の報告がありました。



●平成 30 年事業実績

事業	内容
活動計画書の事前確認	市町村の確認事務の支援:(新規 18 組織、継続 29 組織、計 47 組織)
事務研修会	書類作成や事業内容の理解を深めるため:(13 会場、907 人)
技術研修会	2テーマ:・開水路の目地補修:(上田会場、40 人 大町会場、117 名) ・鳥獣防護柵の管理・補修(木祖村会場 51 人)
市町村担当者会議	市町村職員を対象に実施:1 会場、131 人
協議会だよりの発行	研修内容や活動組織の活動内容を紹介、2 ヶ月 1 回、6 回発行
ホームページの更新	県内の活動組織の情報の提供や事業実施に必要な様式の提供、活動組織の取組エリアの掲載など
活動区域情報システムの更新	GIS 地図情報に取組み地域を入力 新規 18 組織、変更修正 74 組織、土地改良区管轄区域別

地域協議会だより



新規及び継続組織
事務研修会(13会場)



技術研修会
開水路の目地補修



技術研修会
鳥獣防護柵の管理・補修

Y 平成 31 年度の事業計画



総会では、第 3 号議案で平成 31 年度の主な事業計画の提案があり、満場一致で議決されました。

●H31 事業計画

時 期	内 容	
通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会だよりの発行及びホームページの更新 ・活動区域情報システム更新 ・組織の広域化に関する研究 ・事務負担軽減に関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・再認定地区相談業務 ・「活動の手引き」の更新 ・市町村等との意見交換 ・関東農政局の抽出検査の対応支援

時 期	内 容	時 期	内 容
4 月～9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村担当者研修会 ・事業計画書等の審査支援 (再認定地区等) ・監査 ・新規組織及び継続組織に対する事務研修会 	10 月～3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査 ・技術研修会 ・活動組織の中間確認指導支援 ・幹事会、通常総会

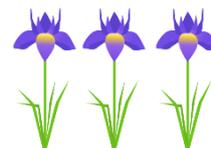
Y 平成 31 年度の役員

役員	所属	職名	氏名
会長	長野県土地改良事業団体連合会	常務理事	赤羽 昭彦
副会長	長野県	農業政策課長	草間 康晴
副会長	長野県農業協同組合中央会	参事	武重 正史
監事	長野県農業会議	専務理事	小林 文彦
監事	長野市	農林部長	横地 克己

※付帯決議「役員が任期途中で各所属の人事異動により交代した場合には、その後任の者が役員にあたるものとする」に基づき決定

Y 活動組織紹介

今回は、佐久市の竹田水と環境を守る会を紹介します。



1 佐久市の取り組み状況

佐久市では、11 組織・約 520ha の農地を対象に多面的機能支払交付金に取り組んでいます。

2 竹田水と環境を守る会

佐久市竹田水と環境を守る会は、佐久市中心街から西へ約 5 キロの比較的平坦な農地を対象に、農地維持活動、共同活動及び長寿命化活動を行っています。

平成 19 年度から竹田区が中心となって、区民 93 戸が一致協力して地域活動に取り組んでいます。

対象農地は主にほ場整備済みの水田ですが、施設の老朽化が進行しているため、排水路の更新を長寿命化対策で優先して実施しています。また、水路の補修では、緊急対応が可能となるよう公会場に補修用資材を備えると共に講習会を独自に実施するなど、交付金の有効活用に努めています。

【地区データー】	
・ 取組面積	約 28ha
・ 対象施設	開水路 6.2km 農道 5.5km
・ 交付金	約 240 万円
(農地維持、共同、長寿命化)	

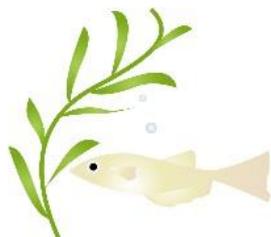
水路補修の講習会



備付の水路補修資材



地域協議会だより

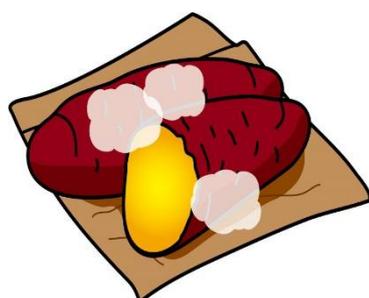


また、環境整備も盛んで、集落のほぼ中央を流れる中沢川の草刈りや集落内の花の植栽に取り組み、特に農道沿いのアヤメの植栽は小学生との交流活動として実施しています。



さらに、農地の有効活用として、サツマイモの植え付けを小学生も参加して実施し、秋には収穫したサツマイモを焼き芋にして交流しています。

こうした多面的機能支払の活動を、区民の皆さんに知ってもらい、子どもからお年寄りまで関心を持ってもらうために、広報活動として公会場に掲示板を設置しています。



竹田区も他の農村地域と同様に、高齢化や担い手不足などから農業の継続、農地の保全に不安を抱えているとのことですが、地域の強い絆によって自然豊かな農村環境を次世代に継承していくことが期待されます。取材にご協力をいただいた、工藤会長には感謝申し上げます。また、取材の日程調整など佐久地域振興局の山下さんにお世話になりました。



事務局から

今年度の「地域協議会だより」の発行はこれで最後になります。来年度以降も皆様の活動のお役に立てるような情報を提供してまいりますので、よろしくお願いします。

■問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
 (担当: 田中・白石)
 TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352
 Eメール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp
 URL <http://www.nagano-nouchimizu.net/>